

仁多地域統合小学校(仮称)校名募集 集計結果

資料1

- 応募者数 159名 (うち3名は白紙)
- 集計後校名件数 55件

	学校名	ふりがな	応募数
1	仁多	にた	76
2	奥出雲	おくいずも	14
3	三成	みなり	5
4	にた	にた	4
5	おろち	おろち	2
6	仁多連合	にたれんごう	2
7	奥山鉄	おくざんてつ	2
8	奥出雲仁多	おくいずもにた	2
9	仁多地区連合	にたちくれんごう	2
10	仁多中央	にたちゅうおう	2

※1票のみのもの

	学校名	ふりがな	応募数
11	統一仁多	とういつにた	1
12	旧仁多町	きゅうにたちょう	1
13	新・仁多	しんにた	1
14	仁多ぐん島根	にたぐんしまね	1
15	仁多ごうどう	(ふりがななし)	1
16	仁多ふるさと	にたふるさと	1
17	仁多開花	にたかいか	1
18	仁多第一	にただいいち	1
19	仁多地域	(ふりがななし)	1
20	仁多地域統合	にたちいきとうごう	1
21	二多	にた	1
22	にたごうどう	にたごうどう	1
23	にたちいき	にたちいき	1
24	にたちくれんごう	にたちくれんごう	1
25	にたまち	にたまち	1
26	阿井	にた	1
27	爾多四季	にたしき	1

「仁多(にた)」を含むもの

	学校名	ふりがな	応募数	
28	愛宕	あたご	1	その他地名を 含むもの
29	Ai	えーあい	1	
30	奥出雲三成	おくいずもみなり	1	
31	奥出雲第一	おくいずもだいいち	1	
32	上阿井	かみあい	1	
33	みなり	みなり	1	
34	三なり	(ふりがななし)	1	6校統合に 関連したもの
35	合同	ごうどう	1	
36	華舞	はなまい	1	
37	六花	むつのはな	1	
38	むつ成	むつなり	1	
39	六成	ろくせい	1	
40	たたら	たたら	1	たたらに 関連したもの
41	たたら <small>の</small> 里	たたら <small>の</small> さと	1	
42	玉鋼	たまはがね	1	
43	鉄 <small>の</small> 里	てつ <small>の</small> さと	1	
44	田舎学校	いなががっこう	1	
45	きらきら	きらきら	1	
46	仁明	じんめい	1	
47	ずんどぼっけえ	ずんどぼっけえ	1	
48	友達	ともだち	1	
49	なかよし	なかよし	1	
50	にこにこ	にこにこ	1	
51	みんなあつまれ!	みんなあつまれ	1	
52	みんなキラキラはばたけ	みんなきらきはばたけ	1	
53	奥山	おくざん	1	
54	自然	しぜん	1	
55	自由	(ふりがななし)	1	

合計 156

(3件は白紙の為除外)

学校名	学校名（ふりがな）	理由（原文まま）	在住地区	在住先	応募媒体
仁多	にた	現在、中学校が「仁多中学校」ですので、一貫性から「仁多小学校」がふさわしいと思う。 また、古来「出雲国風土記」に“仁以多地（にたしきち）”と記されており、そこから「仁多」と名付けられたと聞いている。 “仁以多地”とは、豊かな土地という意味合いがあるとのこと。 豊かな土地で自然と人の豊かさの中で健やかに育てほしいという思いで『仁多小学校』	三成	奥出雲町内	Fax
仁多	にた	仁多という地名は残すべきと考えます。	高尾	奥出雲町内	Fax
仁多	にた	奥出雲町は、仁多町、横田町が合併して出来た町。永遠に「仁多」の名を残すため、また、町民が一番親しみやすいネーミングとしてこの名を選びました。	亀嵩	奥出雲町内	Fax
仁多	にた	仁多地域の小学校6校が1校になることは、仁多地域全体にかかわることである。旧町名は「仁多町」であった。それも5ヶ町村の合併で付けられた町名だった。「仁多」という呼び方は私たちの心に馴染んでいる。又、中学校の5校統合でも「仁多」が使われ「仁多中学校」となった。そのような理由で「仁多小学校」とうたい、「仁多中学校」とのかかわりのうえでも一番よいと考え	三沢	奥出雲町内	Fax
仁多	にた	旧仁多町の5地区の児童の通う小学校となる為	阿井	奥出雲町内	Fax
仁多	にた	奥出雲町は「仁多地域」と「横田地域」の二地域があり、横田地域は「横田小学校」となったので、仁多地域は「仁多小学校」にすれば、スッキリした校名となる。（校名は地域を代表した小学校校名となる）	横田	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	思いつかないので直感で書いた	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多地区の統一小学校なら仁多。	八川	奥出雲町内	応募用紙
仁多		仁多地域にあるし、仁多中学校も近くにあるので「仁多」で合わせたら、統一感が出ていいなと思ったからです。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	①1300年前より「仁多」が使用されている由緒ある地名…出雲国風土記 ②旧仁多町の町名が「仁多」であり、中学校名も「仁多」中学校だ。※「仁多」しき小国 ③奥出雲町の住所は「仁多」郡である…この募集も「仁多」地域統合小学校である。	布勢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多全体を示すから分かりやすいと思うため。	布勢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	・出雲国風土記にニタシキ（豊かな）土地と記されているから仁多の地名ができたと聞いています。その由緒ある名を冠したい。 ・仁多中学校とのつながりを考えること、旧仁多町全域の小学生が集まるから。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた		阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多		奥出雲町立奥出雲小学校って頭には浮かんできましたが、とりあえず、横田エリアの小学校は「横田」のようですので、仁多エリアは、「仁多小学校」が無難で良いのでは。と思いました。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	・「仁多」は、出雲国風土記に登場することから長い歴史を感じる名称である。 ・奥出雲町合併前の仁多郡仁多町時代からつながっていくというイメージがある。 ・仁多小、仁多中となってわかりやすい。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多に1つの小学校だからです	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	尔多志枳小国在り 故に仁多と言ふ。（出雲風土記より） 太古の昔から呼ばれている仁多を、現中学校とともに統合小学校にも未来永劫呼びつづけてほしい。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多中学校もあるから		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多にある小学校が合わさるから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の人が集まる場所だから		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の人たちが集まるから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多地域の小学校の人が集まる場所だから		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多地域の人たちが集まるから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多中学校があるから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の人たちがたくさんあつまるから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた			奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の人がいる小学校だから		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の小学生があつまる場所だから仁多小学校がいいと思いました。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	三成も仁多だと思うから		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の人たちが集まるから		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた			奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	中学校と一緒にだし、仁多地いきだからです。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	中学校が仁多中学校だからです。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の子どもが通うから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多中学校、横田中学校だから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	ちゅうがこうとおなじなまえがいいともったから	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の人たちがあつまるから	高尾	奥出雲町内	応募用紙

学校名	学校名（ふりがな）	理由（原文まま）	在住地区	在住先	応募媒体
仁多	にた	5地域の学校を代表するなら、旧仁多町の由来も有り、当り障りのない仁多小学校がベストと考えます。（三成小にするには、他の地域との問題有り）又、横田4地域は横田小と決まり（旧・横田町の関わりと思う）	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた		三沢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	中学も仁多中学校なので仁多小学校でいいではないでしょうか。仁多となじみやすいと思います。	三沢	奥出雲町内	応募用紙
仁多		仁多地域唯一の小学校となることから	その他	勤務	応募用紙
仁多	にた	旧町名。仁多中学校と同じが良いと思う。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	地域の歴史、産業を顧みて、また、将来展望に立って。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多		仁多町の小学校だからです。全部あわせて	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多の地区の小学生があつまるからです。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	農業産物も仁多米とか、牛とか…。仁多の名は貴重で、残したい名で、今回の学校もぜひ	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多郡では米とか、その他の面でも有名だから仁多と言う名を残したい。	三沢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた		布勢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	横田地域が横田小学校であるので、仁多地域は仁多小学校がよろしいのではないのでしょうか。	高尾	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多地域の学校が統一されたから仁多町に関係する名前を残したい。	布勢	奥出雲町内	応募用紙
仁多		①仁多地区にある6つの小学校が統合したのだから仁多の名称が良い ②仁多地区にある中学校が仁多中学校なので合わせた方が良い	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	奥出雲町には横田、仁多地域の二本杉の地域の関係が有り、仁多地域の名を残す為。	布勢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	中学校も仁多の為、小学校も仁多小学校が相応しい！！	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	仁多地域の小学校だから	三沢	奥出雲町内	応募用紙
仁多	にた	地域の区切りがわかりやすい。	布勢	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	一番じっくりします。	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	中学校と同じにしたほうがわかりやすい。横田との兼ね合いもあり。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	横田小学校に対して、仁多が好ましいし、仁多と言う言葉を残したいから	三成	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多の全地区で受け入れやすいと思います。横田地区は横田小、横田中なので、同じ形になりいちばんじっくりくるのではないのでしょうか。	三成	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	出雲風土記にも記載されている由緒ある地名。潤い 豊かさ 優しさ溢れる学校にという想いもある。	三成	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多小学校、横田小学校、でわかりやすい	鳥上	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多にあるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多		仁多地区が集まるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	ここが仁多だから。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	にたちくにあるがっこうのひとたちがあつまるから。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	ここは、仁多だから。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	どこの地域の小学校かわかりやすい	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多に住んでいる小学生が通うから仁多小学校にしました。仁多地区に小学校が建つから似た小学校にしました。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	ここが仁多だから、仁多中学校に引き続き	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多の人が集まる仁多に学校が建つから。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	中学校も仁多中学校であるから	三成	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	地域に根付いた名前	三沢	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多の小学校が集まるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	にたのしょうがっこうがくるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多		仁多地域だから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多	にた	仁多地域の住民にとって馴染みのある名称だから	三沢	奥出雲町内	フォーム
奥出雲	おきいずも		阿井	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲	おきいずも	奥出雲町にある小学校だから	布勢	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲		奥出雲町に作るから	三成	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲	おきいずも	町名が奥出雲町なので、ふさわしいと思います。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲	おきいずも	・数年後には2つの小学校が1つになると思うので。 ・奥出雲町の冠を付けた学校があっても良いと思う。	三成	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲	おきいずも	仁多地域の6校も統合することであり、横田地区は既に横田小学校と決定になっております。「仁多」という校名も考えたが、仁多は中学校があります。従って、仁多地区だから「仁多」にこだわらなくても良いと思い！	阿井	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲	おきいずも	最終的に1校統合を見越して	横田	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲	おきいずも	この小学校に通う子どもと一緒に考えました。この子達が大人になった時に愛着があるように、、、と思い考えました。	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
奥出雲	おきいずも	奥出雲町の学校だから	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
奥出雲	おきいずも	奥出雲町だから	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
奥出雲	おきいずも	奥出雲町だから	亀嵩	出身	フォーム

学校名	学校名 (ふりがな)	理由 (原文まま)	在住地区	在住先	応募媒体
奥出雲	おくいずも	奥出雲だから	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
奥出雲	おくいずも	奥出雲町だから	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
奥出雲		奥出雲がだいすきだからです。	阿井	奥出雲町内	フォーム
三成	みなり	色々考えました (三和小学校、栄和小学校) が、最終的に三成小学校が心に残りました。	八川	奥出雲町内	応募用紙
三成	みつなり	ただみなり小学校と書くのではなく別の読み方をすれば新しい小学校ぽいかなと思いました。	横田	奥出雲町内	応募用紙
三成	みなり	場所が同じところだから	三成	奥出雲町内	応募用紙
三成	みなり	奥出雲町はよこた、みなりのふたつの町が中心、よこた小、みなり小であってほしい	三成	奥出雲町内	応募用紙
三成	みなり	横田地域が「横田」だから。こちらだけ仁多郡の「仁多」だと2校のバランスがよくない。	馬木	奥出雲町内	フォーム
にた	にた	仁多地域統合小学校であることから「nita」の音は残したいと思った。また、平仮名表記にしたのは、変化の激しい世の中にしなやかに対応できる学校であって欲しいと思い (あくまでも私の偏見ですが)、柔かさを想起しやすい平仮名表記とした。	その他	勤務	応募用紙
にた	にた	中学校と同じような校名が、県外の方々にもわかりやすいかと思う	亀嵩	奥出雲町内	応募用紙
にた	にた	にたちゅうがっこうがあるから	三成	奥出雲町内	応募用紙
にた	にた	にただから	三成	奥出雲町内	応募用紙
おろち	おろち	おろちループがあるから	阿井	奥出雲町内	応募用紙
おろち	おろち	やまたのおろちのでんせつからかんがえました。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多連合	にたれんごう	にたの小学校ががたいするから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多連合	にたれんごう	にたがぜんぶあつまったから	阿井	奥出雲町内	フォーム
奥山鉄	おくざんてつ	奥出雲の奥と山と鉄があるからです	阿井	奥出雲町内	フォーム
奥山鉄	おくざんてつ	奥出雲の奥と奥出雲にある山々の山、そして有名な鉄を合わせて奥山鉄にしました。	阿井	奥出雲町内	フォーム
奥出雲仁多	おくいずもにた	奥出雲小学校と迷いましたが仁多米という最高級ブランドもある地元なので仁多も入れました。あと、横田と区別するためにも。仁多中学校もありますし。出雲の地なので奥出雲は入れたかったです。神々しい感じも出ますので。長い名前にはなりますが逆に言うと目立つので提案致します。	三沢	奥出雲町内	フォーム
奥出雲仁多	おくいずもにた	初めに思いついたから。	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多地区連合	にたちくれんごう	いい名前だったから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多地区連合	にたちくれんごう	仁多の学校が全てあつまるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
仁多中央	にたちゅうおう	仁多地域の中心にあり、「央」には「広い」や「声の和らぐ様子」という意味もあることから、子どもたちの声が中央から広がるイメージができるため。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多中央		仁多地区の中心の小学校で、漢字も生徒が書きやすい簡単な漢字が良いと思われま	布勢	奥出雲町内	フォーム
統一仁多	とういつにた	一統したことによってこれからみんなの力を合わせて勉学に励んでほしい。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
旧仁多町	きゅうにたちょう	ここはもともとは「仁多町」だから		奥出雲町内	応募用紙
新・仁多	しんにた	仁多中学校・横田中学校とあるので、仁多地域で仁多小学校が自然かなと感じます。	三沢	奥出雲町内	応募用紙
仁多ぐん島根	にたぐんしまね	理由は、おくいずもだけじゃないから仁多ぐん島根しょう学校にしました。		奥出雲町内	応募用紙
仁多ごうどう		おく出雲町の学校があつまるから		奥出雲町内	応募用紙
仁多ふるさと	にたふるさと	仁多地区が統合しても、子ども達には生まれ育った地区のことも仁多、奥出雲町のことも何十年先まで、ふるさととして覚えて欲しいから。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多開花	にたかい	はながさくということだから。にたのちいきのひとやしぜんとなふれあいながらじどうひとりひとりがえがおのはなをさかせるそんなしょうがっこうになるとよいとおもってかんがえました。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁多第一	にただいいち	町内に小学校が2校となるので「仁多」としたいが、一部にこだわりがある様で第一を付した。	横田	奥出雲町内	応募用紙
仁多地域		仁多地域の小学校6校のせいとが集まる小学校だから。		奥出雲町内	応募用紙
仁多地域統合	にたちいきとうご	一つの学校だとけんかになるから。	三成	奥出雲町内	応募用紙
二多	にた	全ての該当小学校が仁多地域に属しているから。	三沢	奥出雲町内	Fax
にたごうどう	にたごうどう	三成にある小学校を一つにしたから		奥出雲町内	応募用紙
にたちいき	にたちいき	仁多だと全部の小学校がよびやすいから		奥出雲町内	応募用紙
にたちくれんごう	にたちくれんごう	にたのしょうがっこうがあつまるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
にたまち	にたまち	仁多町をひらがなでやわらかく。	三成	奥出雲町内	応募用紙
阿井	にた	にたのひとたちがくるから	阿井	奥出雲町内	フォーム
爾多四季	にたしき	出雲國風土記に「爾多しき小國」とある仁多の地、その四季の風景を大切 (誇り) に思う子どもたちであってほしいと思います。豊かな土地に豊かな四季、そして豊かな心	その他	出身	応募用紙
愛宕	あたご	三成といえば愛宕山、愛宕祭りが有名だから。	布勢	奥出雲町内	フォーム
Ai	えーあい	いいやすいから	阿井	奥出雲町内	フォーム
奥出雲三成	おくいずもみなり	奥出雲町はよこたとみなりが合併前、昔より中心であった	三成	奥出雲町内	応募用紙
奥出雲第一	おくいずもだいい	“奥出雲”という地域名を広げたいから。将来性を考えて。	阿井	奥出雲町内	Fax
上阿井	かみあい	ぼくのいへがかみあいだから	阿井	奥出雲町内	フォーム

学校名	学校名（ふりがな）	理由（原文まま）	在住地区	在住先	応募媒体
みなり	みなり	いまのままがいいから	三成	奥出雲町内	応募用紙
三なり		今かよっている三なり小とおなじ名前がいいから。	三成	奥出雲町内	応募用紙
合同	ごうどう	他の学校も一緒になるから	布勢	奥出雲町内	フォーム
華舞	はなまい	華を一枚一枚の小学校にたとえており、六校の小学校は華として舞ってしまったが、新しい道として一本の華が舞い上がっていくという意味も込めている。	横田	奥出雲町内	応募用紙
六花	むつのはな	6校が合併していることを奥出雲を象徴する雪の異称である六花に託し、伝えていってほしいから。	その他	勤務	フォーム
むつ成	むつなり	6ヶ所の小学校で成り立っている小学校。高尾、三成、布勢、亀嵩、三沢、阿井の六校	三成	奥出雲町内	応募用紙
六成	ろくせい	六つの小学校が統合し成立した学校であるから。校舎が三成に建つことから、三成小学校の票が多く集まることを意識しつつ、三成小学校の名だけが残ることに対しての感情を抑えるために、「成」を音読みとした。また数字が倍になり（三→六となり）インパクトもあるから。	その他	勤務	応募用紙
たたら	たたら	昔からうけつがれているからたたら小学校がいいと思います。	阿井	奥出雲町内	フォーム
たたらの里	たたらのさと	「たたら」は申請中の世界農業の中核要素でもあり、ふるさと教育の中核になるので、「たたら」を冠する校名を考えました。「仁多」は出雲国風土記にも記載された古来から使われている地名で、「潤いがあって肥沃な土地である」という意味だそうなので、子どもたちにふるさとの良さを知ってもらおう上で、古来から豊かな地域であったことを示す「仁多小」というのも良いと思ったのですが、新しい学校になったというイメージがわきにくいので、あえてひらがなを入れた新鮮なイメージのある校名にしました。	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
玉鋼	たまはがね	玉鋼のように強く輝く児童が育ってほしい	その他	勤務	フォーム
鉄の里	てつのさと	たたらが有名だから	阿井	奥出雲町内	フォーム
田舎学校	いなかがっこう	いなかだから	阿井	奥出雲町内	フォーム
きらきら	きらきら	みんながきらきらすることができるように。	三成	奥出雲町内	応募用紙
仁明	じんめい	仁多の小学校が明るい学校に	亀嵩	奥出雲町内	応募用紙
ずんどぼっけえ	ずんどぼっけえ	ずんど（すごく）ぼっけえ（おおきい）ずんどぼっけえ6校がより、すごく大きな小学校が開校	阿井	奥出雲町内	応募用紙
友達	ともだち	みんなが、友達をたくさん作ってほしいから。仲良くなってほしいから。		奥出雲町内	応募用紙
なかよし	なかよし	いろいろな地区の子がなかよくできる学校になるように。	亀嵩	奥出雲町内	フォーム
にこにこ	にこにこ	六ねんせいから一ねんせいまでわらってほしいからです。	三成	奥出雲町内	応募用紙
みんなあつまれ！	みんなあつまれ	・いろいろな小学校があつまるからです。 ・みんなにぎやかであかるくあつまってほしいからです。	三成	奥出雲町内	応募用紙
みんなキラキラは	みんなきらきは	しょうらいはばたいてほしいからです。		奥出雲町内	応募用紙
奥山	おくざん	奥出雲町の奥と、美しい山があるこの街にふさわしいと思ったから。	阿井	奥出雲町内	フォーム
自然	しぜん	りゆうは、奥出雲町とかが自然がゆたかだから奥出雲町立「自然」小学校にしました。自然をたいせつにしてほしいです。	阿井	奥出雲町内	応募用紙
自由		みんなと自由にのびのびと生活していきたいから。		奥出雲町内	応募用紙

※通学先の住所が記入されていた場合は空白